

CBT専門セラピスト教育プログラム ACBTA-Beck CBT Specialized Therapist Education Program (AB-STEP)

アジア認知行動療法学会とベック研究所の共同による「CBT専門セラピスト教育プログラム (AB-STEP)」の募集開始をお知らせいたします。AB-STEPは、アジア認知行動療法学会 (ACBTA) とベック研究所 (米国) の共同事業であり、アジア全域における次世代CBTセラピストの育成を目的としています。12ヶ月間のオンライン研修プログラム (2025年11月14日～2026年11月23日) を通じて、参加者は高度な臨床スキルを習得し、指導下での実践を行い、認知行動療法の国際的研究に参加します。さらに、研究成果は2027年8月に東京で開催されるACBTA総会で発表される予定になっています。

注: AB-STEPの参加者は、研究参加者となりますので学会発表者とはなりません

プログラム概要期間:

評価期間を含む12ヶ月間 (2025年11月14日～2026年11月23日)

形式:

ベック研究所ウェブサイト経由のオンライン講座

言語:

英語 (セラピーは母国語で実施可)

参加条件:

全臨床セッション記録 (作業サンプル¹⁾) は英語で提出、または英語の文字起こしを添付すること。

研究:

本プログラムは機関審査委員会 (IRB) の承認²⁾のもと実施され、参加者全員は参加および研究データ利用 (筆記試験³⁾) を含む) に関するインフォームド・コンセントの提供が必須です。

参加費

ベック研究所標準コース料金から65%割引 (1,800米ドル → 630米ドル) が適用されます。

参加者数

ACBTA加盟国から計30～35名。応募期間: 2025年9月1日～30日

応募方法:

お住まいの国のACBTA代表者にお問い合わせの上、応募用QRコードにアクセスしてください。

注: すべての応募者が受け入れられるわけではありません。最終的な参加者は、ACBTA執行委員会により、加盟国からの代表性のバランスを考慮して審査されます。



応募資格

1. 基本資格

- ・ 応募者はACBTA加盟団体の会員であること。
- ・ 応募前に各国のACBTA研修委員会による正式な推薦が必要となる。
- ・ 全応募者は、クライアントの同意を含む研究データへの参加・利用に関する同意書を提出すること。

2. 学歴・専門的資格

- ・ 心理学、カウンセリング、医学、または関連分野における修士号もしくは同等の資格を有すること。
- ・ カウンセリングおよび／または心理療法において最低2年の実務経験を有すること。
- ・ 独立した対面セッションを実施でき、クライアントとの効果的なコミュニケーション能力を有すること。

3. 言語能力

- ・ 中級から上級レベルの英語能力が必要とされる。
- ・ セラピーは申請者の母国語で実施可能であるが、作業サンプル¹⁾やアンケートを含む全ての課題、および筆記試験³⁾は英語で完了することが求められる。

4. クライアント事例要件

- ・ 申請時および今後の作業提出時に、以下の条件を満たすクライアントと継続的に関与していることが必須となる:
 - ① 16歳以上であること。
 - ② 一般的な精神疾患(例:うつ病または不安症)に罹患していること。
 - ③ 研究参加への書面による同意(全セッションの録音および研究チームへの提出への同意を含む)を得ていること²⁾。
 - ④ 本研究の範囲外の外部スーパービジョンは許可されない。

5. 技術要件

- ・ 安定したインターネット接続環境と、ウェブカメラおよびマイクを備えたコンピューターを準備する。
- ・ ZoomやGoogle Formsなどのオンラインプラットフォームの使用経験が必要とされる。

6. 参加可能時間と取り組み姿勢

- ・ 応募者は12ヶ月間にわたりオンデマンドセッションへの参加が求められる。
- ・ 過去の経験に関わらず、全コースモジュールの修了を求められる。
- ・ プログラム前後の評価への参加が必要となる。
- ・ 応募者はコース全体と関連調査の完了する必要がある。
- ・ セッションが英語で行われない場合、応募者はセッション記録の英語訳を提出することが求められる。

7. チームワークと倫理基準

- ・ 応募者は多様性への尊重を示し、厳格な守秘義務を維持する必要がある。
- ・ 認知行動療法のスキル習得に対する強い意欲が不可欠である。
- ・ 異文化間メンタルヘルス実践への関心を有していることが望ましい。

1) 申請者が英語で実施し提出した、または英語の文字起こしを添付した録音療法セッション
2) ベック研究所は、本プロジェクトに適用されるIRB承認の全側面について責任を負う
3) ベック研究所が開発・監督するライブ形式の試験